

□ 地震、水害以外の自然災害への備えや、複合災害への備えも進めましょう。

東京都が定めた火山対策のうち、品川区では最大の降灰被害が想定される富士山降灰対策の推進を目的とした実施方針が定められています。

● 富士山ハザードマップ



火山ハザードマップとは、火山災害要因の影響の及ぶおそれのある範囲を地図上に特定し、視覚的にわかりやすく描画したものです。

富士山ハザードマップでは、東京都をはじめとする首都圏への広範囲な降灰に起因する被害が想定されており、「降灰の可能性マップ」により降灰範囲等を確認することができます。



富士山降灰対策の詳細については、東京都「Tokyo富士山降灰特設サイト」をご覧ください。



● 降灰への対応

品川区では、富士山が噴火した場合に、2 cm～10 cm程度の降灰のおそれがあります。降灰中は、健康と安全を守るために、落ち着いて行動しましょう。

在宅避難	・降灰中は、できる限り外出せずに自宅に留まりましょう。
室内への火山灰侵入防止	・窓やドアをしっかり閉め、火山灰の侵入を防ぎましょう。 ・換気扇や換気機能のあるエアコンの換気運転を止めましょう。
車の運転自粛	・車の運転は火山灰による視界不良やスリップによる事故のリスクが高くなるため、極力控えましょう。
火山灰の除去	・火山灰は水に濡れると固まりやすく、排水溝が詰まるおそれがあるので排水溝に流さないようにし、自治体の指示に従って処理しましょう。 ・清掃するときは、ゴーグルやマスクを着けて行いましょう。

● 雷・竜巻への対応

雷や竜巻は短時間で大きな被害をもたらします。雷注意報、竜巻注意情報等の気象情報や空の様子にも注意しましょう。

雷への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・頑丈な建物や車の中の安全な場所に避難しましょう。 ・開けた場所にいる場合は、電柱や高い木の近くから離れましょう。 ・なるべく姿勢を低くし、持ち物は身体より高くならないように気を付けましょう。
竜巻への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・頑丈な建物の窓のない部屋等で、身を守りましょう。 ・雨戸や窓、カーテンを閉め、窓から離れましょう。 ・プレハブ等の仮設建築物、太い樹木等も倒壊したり、飛ばされてしまうおそれがあるので離れましょう。

● 複合災害への備え

同じ種類あるいは異なる種類の災害が、同時または時間差で発生することがあります。時間差で発生した場合は、先に発生した災害の復旧対応中に次の災害が起こることになります。

複合災害の例	
2004年 新潟県中越地震	地震、豪雪
2011年 東日本大震災	地震、津波、原発事故
2020年 7月豪雨	集中豪雨、洪水、新型コロナウイルス感染症流行
2024年 能登半島地震・奥能登豪雨	地震、豪雨

複合災害であっても単一災害ごとの対策を着実に行うことが基本になります。

人命安全の観点と事業継続の観点で、防災体制の構築や備蓄品の準備と管理、事業継続計画(BCP)の策定と訓練を継続することで、複合災害にも備えましょう。

品川区地域防災計画「複合災害に備え留意すべき事項」(一部抜粋)
自分の命は自分で守る視点から、複合災害に対する普及啓発を図り、自助・共助の取組を促進
様々なシナリオを想定した、BCPの策定、訓練の繰り返し実施・検証
避難先のさらなる確保、在宅避難・自主避難など分散避難の推進
夏季発災時における熱中症対策